

「スポーツの出会いを楽しみたい」

第9回全日本小中学生ライフル射撃競技
選手権大会 ビームピストル立射40発
小学生女子の部 1位

ライフル射撃選手
黒河 美麗さん(樋口)
Mirei Kurokawa



キラリ東温この人なう No.102

輝く人にインタビュー

1試合平均1時間45分。狙いを定め、標的を見つめる目は鋭い。極度の集中力が必要とされるライフル射撃。全国優勝を果たした黒河美麗選手(12)の優勝時の競技歴はたった4カ月だった。

勉強や運動など何かするときはいつも集中して取り組んでいたと話す黒河選手。えひめ愛顔のジュニアアスリートプログラムでビームピストルの競技に出会い、6年生の10月に競技を始めた。40年以上競技を続けてきた指導者の山下尚彦先生は「競技半年で10発平均80点を目指すところ、黒河選手が競技を始めた頃には84.5点を取っていた。彼女は集中力が長けていて、本番に強いところが競技に向いている」と話す。

現在、ビームピストルからエアピストル(AP)へと移る段級位3段の資格取得を目前としているが、黒河選手の大きな目標はライフル競技だけにとどまらない。

「これからどんな競技に出会えるのかわかりませんが、なんでも楽しんでやってみたい」と彼女の未来は壮大で明るい。

編集後記

今年も蛍の時期がやってきました。蛍の知識を地元の皆さんに教えてもらいました。満月のときは出ないらしいので確かめてみます！(和田)

広報2カ月目。取材先も増えて、伝えたいものを明確に、写真や文章を考えることが大切だと感じます。市内の魅力の伝え方は私の課題とこれからのテーマです。(相澤)

4年ぶりの開催となった愛媛大学医学部医学祭を取材しました。軽音学部のライブは、ステージ前に集まったお客さんと一体感のある様子にグッときました！(戒能)

目次 Contents

02_特集 ほたるの里—棚田と風景—
/08_スイッチとうおん/12_子育てガイド/14_ふれあい広場/18_情報BOX/24_暮らしと健康のカレンダー/26_空と山と鯉のぼり/28_キラリ東温この人なう